

1 日時・場所 令和6年8月22日(木) 19時00分から21時00分まで
小出地区コミュニティセンター大会議室

2 委員の現在数及び出席者数(敬称略)

委員数42名 出席者数27名

(出席者) 村越安芳、石井義雄、布川友義、吉野久雄、大谷みち子、五十嵐清夫、斉藤里美、高木英明、宇尾野政徳、会見春雄、相田利光、古知谷勝、三上晃、大和田穰、川口久雄、米山一己、川中陽子、倉持満男(代理)、山澤克己、秋津伸一、毛利和夫、石井充子、野中良幸、佐藤幸子、鈴木裕、古市進一郎、齋藤賢一

(準委員) 鄭美佐子

(市より) 小出支所石井亨、市民自治推進課竹井良之、熊澤快

(欠席者) 堀江朝昭、八幡直樹、村越春夫、青木克隼、石綿香、藤本恵祐、内田幸男、城昭江、生川仁、高田有加、西ヶ谷勝久、杉山正明、菊地萌、杉山陽一、井上寿子

3 小出地区まちぢから協議会会長あいさつ

・猛暑がようやく少しだけ落ち着いてきました。体調崩して本日も欠席している方もいるので皆様気を付けてください。

4 議事の経過概要及びその結果

(1) まちぢから協議会について

地域担当職員よりまちぢから協議会の概要と制度の見直しについて説明。その後会長より令和6年6月15日(土)の情報交換会で小出地区としては、みずきの小中学生が小出地区の小中学校に、ライフタウンの小中学生が藤沢市内の小中学校に通学している点、1地区25万円の運営助成金では不足している点、特定事業助成金の申請時期が早すぎる点等を中心に発表したと報告があった。

・委員よりみずきで学校区とまちぢから協議会区域の一致しない箇所があるとのことだが、具体的にどこの場所かとの質問。

→次回運営委員会で区域図を提示する。(市民自治)

・委員より前回運営委員会の議事録を配布してほしいとの要望あり。

→ホームページにはUPしてある。次回から紙ベースでも配布する。(市民自治)

・委員より当日出席した委員以外も小出および各地区の意見を見て、意見等あれば出してもらい、今後市が取りまとめる際には反映させるべきではないかと質問。

→意見があれば出してもらって構わない。書式は書記にて作成して後日周知させていただく。

(村越会長) (議事録に添付の「まちぢから協議会制度見直し意見シート」参照。収集した意見は令和6年11月30日予定の「中間報告」に反映してもらう。)

(2) 部会長の選任について

地域担当職員より県道七曲り整備部会より石井義雄氏、広報部会より相田利光氏が部会長に推薦された旨、部会長の選任が運営委員会での決定事項であることが説明され、全会一致で承認された。

・委員より県道七曲り整備部会長が交代となった理由について質問。

→転居に伴うものと聞いている。(村越会長)

(3) 部会以外の団体からの活動報告、お知らせ等

小出地区青少年育成推進協議会会長より、11月10日(日)に子ども大会を開催する。例年小出小学校を会場としているが、今年度は工事のため皆楽荘で開催となる旨が報告された。

(4) 各部会の活動費について

会長より今年度各団体や部会活動をしていく中で資金が不足しており、昨年度同様に自治会に支援金を依頼したいと説明があった。その後各団体・部会より必要資金の説明があった。

・委員より本当にすべて必要な資金なのか疑問に思う。特に社会福祉協議会はほかの財源を投入することはできないのか。地域活動部会は直売所のチラシ等を作成する予定はあるのかと質問。

・委員より毎年何故自治会に頼るのか、6年度がスタートして各部会で総会議案(予算・行動計画)が決議されているのに、今更予算・行動計画変更等は理解できない、自治会会員に説明できない。何故部会は努力しないのか、何故自治会に求めるのか、との質問が提示された。

・委員より本来は特定事業補助金を活用すべきであり、無理なら次年度に繰り越すのが筋である。不足活動費は各部で寄付活動を行うとか、コミセン祭りを利用するとか、母体(上部団体)に相談するとか、代替用品を行政や自治会から借りる等、方法はあるのではないかと。なんでもかでも自治会頼りというのは如何なものだろうか。突如として行動計画もなく(説明もなく)予算計画で支援を求めるのは理解不能で、一方的で傲慢であると思う。また、事業がスタートしている最中に事業を考えるのは無理があり、計画性がないとの指摘があった。

→社会福祉協議会や青少年育成推進協議会の総会資料に記載されている。各自治会からも委員が出ており、確認はしている。突発的に出てきたものではなく例年通りの金額となっている。

(村越会長)直売所のチラシについては今後作成する予定はある。(地域活動部会長)

・委員より行政から支援を受けている団体(社会福祉協議会・青少年育成推進協議会)になぜ、まちから協議会や自治会が支援しなければならないのか疑問であるし理解できない。防災部会の防災用ポータブルスピーカーは購入しないで、活用できる代替用品を行政または自治会から借りる方法もあるのではないかと思いますがいかがでしょうか。また社会福祉部会「歌声喫茶」の件は自治会に対しての説明案(運営方法等)がないのにお金の件が先行しすぎていると思う。

→来週に部会があるのでしっかり議論した上で再度提案させてほしい。(社会福祉部会長)

・委員より地区社協は市社協からお金が出ているのだから補助金増額依頼をすべきではないかとの意見。

→過去から数十年自治会連合会から活動資金の一部をもらっていたが打ち切られてしまったのでまちから協議会で集めることにした経緯がある。部会活動はなるべく特定事業補助金にしているが、社会福祉協議会等できない部分もある。(村越会長)

・赤い羽根共同募金について委員より。各自治会で寄付活動に対しては対応に差がある。会員からは寄付金行為が強制的であり、善意行為ではないと反発があり、その結果市内において目標額をこの数年大幅に下回っていると聞いている。小出地区でも同じ現象が現れている。寄付については全ての住民を対象として行うべきであり自治会会員対象は、今後において無理がある。

・委員より添付資料の支援金要望一覧表を、もっと費用内訳を充実させた資料を作成して自治

会長あてに出したらいいのではないか。各自治会が拠出しやすい環境づくりが大切だとの意見。

・委員より今年度分ももちろんだが、来年度以降詳細な資料を総会前に出してほしい。そうできないと自治会の予算に計上できないとの意見。

→早急に詳細な資料を作成して各自治会宛にお願いをさせていただく。また来年度以降も各自治会の総会に間に合うように資料を作成していく。（村越会長）

(5) 各部会からの活動報告等

資料等に基づき、各部会より活動報告がなされた。

- ・コミュニティセンター管理運営委員会よりコミセンまつりの協力お礼があった。
- ・社会福祉部会より前回の運営委員会で指摘のあった地区社会福祉協議会、その他の福祉団体との関係について資料に基づき説明があった。
- ・子ども育成部会より副部会長が変更となった報告があった。（林俊樹→佐藤幸子）
- ・防災部会より各自治会に配布した小出地区全図の取り扱いについて報告があった。
- ・地域活動部会より9月29日（日）13:30～16:00に市民集会を開催すると報告があった。テーマは「小出の将来について」。
- ・県道七曲り整備部会よりメンバーが4人となり、道路行政に明るい方が加わったので、今後の活動をより活発化させ、災害（防災）に強い道路を目指していくと報告があった。
- ・下寺尾遺跡部会より10月27日（日）下寺尾遺跡文化祭を開催すると報告があった。
- ・環境保全部会より6月末に実施した活動後の泥の撤去について、市道路管理課により昨日今日で実施されたと報告があった。
- ・広報部会より新体制でようやくスタートできた。今後駅ピアノと広報を二本柱として活動していくと報告があった。

・委員より防災部会の小出地区全図について委託業者が今後修正できないことは契約時に書面にも記載があったのか。委託業者の規約等は確認したのかと質問。

→委託業者とは口頭でやり取りをした。業者の規約は見えていない。（防災部会長）

・部会内で委託業者とのやりとりはしっかり共有してほしい。出席者等の打合せ記録があると思うので資料を出してほしい。

→8月25日（日）の防災部会で資料を提示する。（防災部会長）

・その他として委員より皆楽荘の倉庫の管理について質問があり会長が確認することとなった。

5 今後のスケジュール

- ・10月運営委員会 10月17日（木）19時～ 小出コミセン 大会議室

6 閉会